

自己資本の構成に関する開示事項(平成29年9月期自己資本比率)

1. 連結自己資本比率(平成26年金融庁告示第7号、附則別紙様式第二号)

(単位:百万円、%)

国際様式の 該当番号 (注)	項目	当中間期末 (29年9月期)	経過措置に よる不算入 額	前中間期末 (28年9月期)	経過措置に よる不算入 額
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	517,471		497,919	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	86,727		86,759	
2	うち、利益剰余金の額	436,802		417,353	
1c	うち、自己株式の額(△)	3,017		3,153	
26	うち、社外流出予定額(△)	3,041		3,040	
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	274		309	
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	174,147	43,536	101,345	67,563
5	普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額	-		-	
	経過措置により普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	3,993		7,107	
	うち、非支配株主持分に係る経過措置によるものの額	3,993		7,107	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額(イ)	695,887		606,682	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目					
8+9	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	2,973	743	2,271	1,514
8	うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	-	-	-	-
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	2,973	743	2,271	1,514
10	繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
11	繰延ヘッジ損益の額	△ 391	△ 97	△ 1,111	△ 741
12	適格引当金不足額	1,469	367	2,533	1,689
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
15	退職給付に係る資産の額	13,366	3,341	6,468	4,312
16	自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	2	0	3	2
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	9,083	2,270	1,362	908
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに 関連するものの額	-	-	-	-
20	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
21	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに 関連するものの額	-	-	-	-
24	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
25	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
27	その他Tier1資本不足額	-	-	-	-
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額(ロ)	26,504		11,527	
普通株式等Tier1資本					
29	普通株式等Tier1資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	669,382		595,155	
その他Tier1資本に係る基礎項目					
30	31a その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-		-	
	31b その他Tier1資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	32 その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-		-	
	特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
34-35	その他Tier1資本に係る調整後非支配株主持分等の額	6,164		5,806	
33+35	適格旧Tier1資本調達手段の額のうちその他Tier1資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
33	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	-		-	
35	うち、銀行の連結子法人等(銀行の特別目的会社等を除く。)の発行する資本調達手段の額	-		-	
	経過措置によりその他Tier1資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-		-	
	うち、その他の包括利益累計額に係る経過措置によるものの額	-		-	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額(ニ)	6,164		5,806	
その他Tier1資本に係る調整項目					
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-		-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
	経過措置によりその他Tier1資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	183		844	
	うち、適格引当金不足額に係る経過措置によるものの額	183		844	
42	Tier2資本不足額	-		-	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額(ホ)	183		844	
その他Tier1資本					
44	その他Tier1資本の額((ニ)-(ホ))(ヘ)	5,981		4,961	
Tier1資本					
45	Tier1資本の額((ハ)+(ヘ))(ト)	675,363		600,116	

Tier2資本に係る基礎項目				
	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-		-
46	Tier2資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	-		-
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-		-
		-		-
48-49	Tier2資本に係る調整後非支配株主持分等の額	1,450		1,366
47+49	適格旧Tier2資本調達手段の額のうちTier2資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-
47	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	-		-
49	うち、銀行の連結子法人等(銀行の特別目的会社を除く。)の発行する資本調達手段の額	-		-
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	112		127
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	112		127
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-		-
	経過措置によりTier2資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	27,989		45,127
	うち、その他の包括利益累計額に係る経過措置によるものの額	27,989		45,127
51	Tier2資本に係る基礎項目の額(チ)	29,552		46,620
Tier2資本に係る調整項目				
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-	-
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段の額	10,066	2,516	1,434
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-
	経過措置によりTier2資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	183		844
	うち、他の金融機関の資本調達手段の意図的保有に係る経過措置によるものの額	-		-
	うち、適格引当金不足額に係る経過措置によるものの額	183		844
57	Tier2資本に係る調整項目の額(リ)	10,250		2,279
Tier2資本				
58	Tier2資本の額((チ)-(リ))(ヌ)	19,301		44,341
総自己資本				
59	総自己資本の額((ト)+(ヌ))(ル)	694,665		644,458
リスク・アセット				
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	9,073		7,825
	うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のもの。)の額に係る経過措置によるものの額	743		1,514
	うち、退職給付に係る資産の額に係る経過措置によるものの額	3,341		4,312
	うち、自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額に係る経過措置によるものの額	2		6
	うち、少数出資金融機関等の資本調達手段の額に係る経過措置によるものの額	4,986		1,991
60	リスク・アセットの額の合計額(ヲ)	3,264,818		3,082,394
連結自己資本比率				
61	連結普通株式等Tier1比率((ハ)/(ヲ))	20.50		19.30
62	連結Tier1比率((ト)/(ヲ))	20.68		19.46
63	連結総自己資本比率((ル)/(ヲ))	21.27		20.90
調整項目に係る参考事項				
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	71,365		65,019
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	8,225		9,065
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項				
76	一般貸倒引当金の額	112		127
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	282		346
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	-		-
資本調達手段に係る経過措置に関する事項				
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	-		-
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	-		-
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-

(注)パーゼル銀行監督委員会より平成24年6月に公表された「パーゼルⅢに基づく銀行の新たな自己資本の開示事項を定める国際合意文書(資本構成の開示要件)」における開示様式に記載された項目番号です。

2. 単体自己資本比率(平成26年金融庁告示第7号、附則別紙様式第一号)

(単位:百万円、%)

国際株式の 該当番号 (注)	項目	当中間期末 (29年9月期)	経過措置に よる不算入 額	前中間期末 (28年9月期)	経過措置に よる不算入 額
<b>普通株式等Tier1資本に係る基礎項目</b>					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	493,880		477,149	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	84,813		84,844	
2	うち、利益剰余金の額	415,126		398,498	
1c	うち、自己株式の額(△)	3,017		3,153	
26	うち、社外流出予定額(△)	3,041		3,040	
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	274		309	
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	170,939	42,734	103,077	68,718
	経過措置により普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-		-	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額(イ)	665,094		580,535	
<b>普通株式等Tier1資本に係る調整項目</b>					
8+9	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	2,798	699	2,084	1,389
8	うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	2,798	699	2,084	1,389
10	繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
11	繰延ヘッジ損益の額	△ 391	△ 97	△ 1,111	△ 741
12	適格引当金不足額	3,482	870	3,786	2,524
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
15	前払年金費用の額	9,609	2,402	7,474	4,982
16	自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	2	0	3	2
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	9,931	2,482	1,917	1,278
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに 関連するものの額	-	-	-	-
20	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
21	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに 関連するものの額	-	-	-	-
24	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
25	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
27	その他Tier1資本不足額	435		1,262	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額(ロ)	25,867		15,416	
<b>普通株式等Tier1資本</b>					
29	普通株式等Tier1資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	639,227		565,119	
<b>その他Tier1資本に係る基礎項目</b>					
30	31a その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-		-	
	31b その他Tier1資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	32 その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-		-	
	特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
33+35	適格旧Tier1資本調達手段の額のうちその他Tier1資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
	経過措置によりその他Tier1資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-		-	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額(ニ)	-		-	
<b>その他Tier1資本に係る調整項目</b>					
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-		-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
	経過措置によりその他Tier1資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	435		1,262	
	うち、適格引当金不足額に係る経過措置によるものの額	435		1,262	
42	Tier2資本不足額	-		-	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額(ホ)	435		1,262	
<b>その他Tier1資本</b>					
44	その他Tier1資本の額((ニ)-(ホ))(ヘ)	-		-	
<b>Tier1資本</b>					
45	Tier1資本の額((ハ)+(ヘ))(ト)	639,227		565,119	
<b>Tier2資本に係る基礎項目</b>					
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-		-	
	Tier2資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	-		-	
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-		-	
47+49	適格旧Tier2資本調達手段の額のうちTier2資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	

50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	-	-	-	-
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	-	-	-	-
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-	-	-	-
	経過措置によりTier2資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	27,569	-	44,689	-
	うち、評価・換算差額等に係る経過措置によるものの額	27,569	-	44,689	-
51	Tier2資本に係る基礎項目の額(チ)	27,569	-	44,689	-
Tier2資本に係る調整項目					
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-	-	-
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-	-
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段の額	11,059	2,764	2,032	1,354
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-	-
	経過措置によりTier2資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	435	-	1,262	-
	うち、他の金融機関の資本調達手段の意図的保有に係る経過措置によるものの額	-	-	-	-
	うち、適格引当金不足額に係る経過措置によるものの額	435	-	1,262	-
57	Tier2資本に係る調整項目の額(リ)	11,495	-	3,294	-
Tier2資本					
58	Tier2資本の額((チ)-(リ))(ヌ)	16,074	-	41,395	-
総自己資本					
59	総自己資本の額((ト)+(ヌ))(ル)	655,301	-	606,514	-
リスク・アセット					
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	8,541	-	9,172	-
	うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のもの)の額に係る経過措置によるものの額	699	-	1,389	-
	うち、前払年金費用の額に係る経過措置によるものの額	2,402	-	4,982	-
	うち、自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額に係る経過措置によるものの額	2	-	6	-
	うち、少数出資金融機関等の資本調達手段の額に係る経過措置によるものの額	5,437	-	2,793	-
60	リスク・アセットの額の合計額(ヲ)	3,218,449	-	3,000,851	-
自己資本比率					
61	普通株式等Tier1比率((ハ)/(ヲ))	19.86	-	18.83	-
62	Tier1比率((ト)/(ヲ))	19.86	-	18.83	-
63	総自己資本比率((ル)/(ヲ))	20.36	-	20.21	-
調整項目に係る参考事項					
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	68,845	-	62,885	-
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	8,119	-	8,952	-
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-	-	-	-
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-	-	-	-
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項					
76	一般貸倒引当金の額	-	-	-	-
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	-	-	-	-
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	-	-
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	-	-	-	-
資本調達手段に係る経過措置に関する事項					
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	-	-	-	-
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	-	-
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	-	-	-	-
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	-	-

(注)パーゼル銀行監督委員会より平成24年6月に公表された「パーゼルⅢに基づく銀行の新たな自己資本の開示事項を定める国際合意文書(資本構成の開示要件)」における開示様式に記載された項目番号です。